



堺市議会議員（南区）

しん いち

ま と ば 慎 一

新しいステージへ発展していく堺

堺を新たなステージへ！

ご挨拶

今年4月の統一地方選挙にて皆様に多大なる御付託を頂き、市議会議員として2期目の歩みをスタートさせて頂きました。大阪市における住民投票は否決されましたが、多くの皆様から賛成票を頂いたのも確かです。

日本は少子高齢化が益々進み、社会保障費は増加するにもかかわらず、労働人口減少で税収が下がり続けて行きます。行政は改革により更に効率よく、そして税収を伸ばしていく挑戦が必要です。

歴史的に見ても、社会的構造による課題を現状維持で解決はできません。

維新の志で納税の納得度を高めていく挑戦を続けていきます。皆様の日々頂くご意見、ご支援ありがとうございます。堺を新たなステージへ！ 意気込んで邁進いたします。

堺市議会議員 的場 慎一

News

ニュータウン再生室の分室が 泉ヶ丘に設置されます。

南区茶山台1丁6-1

泉北ニュータウンの近隣センターの再生プランを行う拠点として8月31日に設置され、職員4名体制でスタートする。

また、タウン管理財団が持つ近隣センター共有地などを市に移管する際の広場・駐車場などの引継ぎに向けた業務も行う。

所属委員会が決まりました

常任委員会 産業環境委員会

産業振興、文化観光、環境、農業についてが主な所管です。

6月の委員会では堺市の産業振興に関して質疑いたしました。改革を行い財源を生み出す事と市税収入を伸ばす事は両輪が必要です。

今後の議会において委員会所管の幅広いテーマについて取り組んでまいります。

特別委員会

歴史文化魅力発信調査特別委員会

百舌鳥・古市古墳群をはじめとする本市の有する魅力あふれる歴史文化を活かしたまちづくりとシティプロモーション、また、これらの資源を核とする観光施策の充実や地域経済の更なる発展について議論を行ってまいります。

「大阪戦略調整会議」設置条例今議会で成立

指揮官と行政を一本化する大阪再生の具体的な提案は大阪都構想であることは今も変わらないと考えますが住民投票の結果、廃案となりました。大阪都にしくなくてもよいと出されたのが大阪府・大阪市・堺市と各自治体の形のまま話し合いで物事を決めていく「大阪戦略調整会議」であります。

これまでも普通に自治体間の協議で進めてこれた以上の事ができるのか、たとえ実効性に乏しくても、一歩でも、今これしかないのなら可能な限り改革を進めていくために今議会で賛成致しました。

平成27年6月定例会にて会派の代表質疑に臨みました。

——人口減少社会を主軸のテーマとして各項目について質疑を行いました。——

● 堺市の人口減少予測と財政について

堺市の人口は減少が予測されている、市税確保は？
住民サービスは守れるのか？民間活力を活かし、たゆまぬ
行革で、少しでも財源確保を進めていくべきだ。

● 小規模小学校再編について

一学年一クラスという子供達の教育環境を改善することを
大義とし、大人の事情で進まないという事がないように
オール堺でスケジュールにのっとり進めていくべき。

● 中学校給食について

選択性給食で食育指導は今後どうするのか、現在学校の
休憩時間と定義されている中学校のお昼ご飯。まずは食
事の時間として教育の一環として指導していくべき。
そして全喫食へ。



● 保育士確保について

今年4月の発表で堺市の待機児童は54名。保育士の
人材確保は国全体としての課題。国、そして大阪府も
進める地域限定保育士試験。導入が始まればしっかりと
活用して堺市の保育士確保に邁進すべきだ。労働人口
が減っていく社会情勢の中、保育士確保は女性の社会
進出に大きく関わる重大課題。

● 災害時の水道事業、 大阪市との連携について

大和川を渡り、大阪市と堺市の水道管が繋がりました。
緊急時に互いに水を供給することの取り決めがなされ
た。今後更に様々な分野にて連携を。



● 泉北ニュータウンの人口減少とこれからの活性策について

ニュータウンの人口推計

	人口	2010年を基準として (%)	2010年を基準として 堺市平均(%)
2010年	13万4千人	100%	100%
2020年	11万9千人	88.8%	98.8%
2030年	9万8千人	73.5%	94%

(平成23年泉北ニュータウン公的賃貸住宅再生計画より)

泉北ニュータウンの主な世代構成については20代、30代世代が
世帯分離にて出て行き、若年層の転入者が少なく、高齢者だけが
残る図式。

泉北ニュータウンは大きく人口が減っていくという予測が
されていますが、それを単に受け入れるわけにはいかない。
若い世帯が新たに転入してくるよう、活性施策を進めて
いくことが必要。

堺市は地元自治体として問題・課題を整理して大阪府と
連携し、進めていくことを求めました。

また自治会活動、ボランティア、その
他の地域活動についても高齢化が
進んでおり、地域活動の継承も課題。
若い世代が地域活動に参加してもら
えるよう施策を進めるとともに地域活
動の情報発信拠点設置も求めました。

今回の質疑で議論した ニュータウン活性策

駅周辺(地区センター)

民間活力による活性化のため建築物容積率の
割り増しの誘導策を検討していく。

近隣センター

各近隣センターごとに事業者、地域利用者、
地権者の方々と行政がプラットフォーム役となり各
近隣センターの再生プラン(たたき台)を策定し、
地域と話し合いながら再生へと進めていく。

まとは慎一 市政相談事務所

各種の問題解決のため、
皆様の生の声を聞かせ下さい。

〒590-0103

TEL 072-230-1887

ホームページ
ishin-matoba.com

まとは 堺

検索



公式サイト

的場 慎一 プロフィール

1969年生まれ
45歳。
産業機械設計・アウト
ソーシング会社経営。
2008年(社)堺高石青年
会議所理事長、教育再生
機構大阪堺高石支部副
幹事長。
2013年秋の堺市長選挙
と同じく行われた市議会
補欠選挙にて初当選。
三原台在住。
4人家族。

